

## こころ塾スタッフとして「ありたい姿」

「いい仕事をしたい。いい職場を作りたい。そして公益性の高いこころ塾を作りたい。」そんな思いを持つ私たちですが、ぼんやりしていると望ましくない状態が放置されることがあります。それはどのような場合に起こるかという①一人ひとりが「こんな私になりたい」という志を持っていない②こころ塾が目指す方向が認識されていない③能力に見合った仕事・課題が与えられていない④こころがマイナス感情に支配されている場合です。この平成●年度経営指針が、私たちのぶれない思いのよりどころの役目を果たすはずです。しっかり活用していきましょう。

(平成●年4月1日 こころ塾塾長 村松つね)

---

## ■3年後の私（平成●年度～●年度）

「こころ塾の方向性を自分ごととして考えられる私でありたい」

そのために

・やること

自分たちのゴールと相手のニーズの見極めと価値をつなげて考える。

・やりたいこと

いろいろな業種・立場の人との関わりを増やし、相手のニーズの掘り下げが速く、正確にできるようになる

◆ ●年度の振り返り（ . . . . . ）

・

◆ ●年度の振り返り（ . . . . . ）

---

## ■今年の私

「プライベートの充実と変化に対応できるチームワーク作り」

そのために

・やること

業務の整理分担と報連相の徹底。優しい声がけ

・やりたいこと

何でも仕事ややっていることと結びつかないか考える習慣をもちたい